

あかし里親100%プロジェクトの取り組みについて

本市では、平成31年度の児童相談所設置をはじめ、全ての子どもを総合的に支援する施策を展開しているところですが、それをより一層推進するための新たな取り組みである「あかし里親100%プロジェクト」についてお知らせします。

明石市は平成31年度児童相談所設置後に

就学前乳幼児の里親委託率100%をめざします！

わが国では、親と暮らせない子どもたちの8割余りが乳児院や児童養護施設で生活し、1割強のこどもたちが里親と生活しています。

◆日本の里親委託率（平成27年3月末現在）

全国 16.48%（兵庫県 11.64%）

◆諸外国の里親委託率（2010年データ）

オーストラリア 93.5%、香港 79.8%、アメリカ 77.0%、イギリス 71.7%

「あかし里親100%プロジェクト」3つのポイント～先進的な取り組みでこどもを支援～



① 里親を全28小学校区に配置できるよう取り組みます

あかしのまち全体で責任をもって子どもたちを見守り、子どもたちに家庭的な環境を提供するため、市内全28小学校区に里親の配置を目指します。

※明石市の里親登録家庭数（平成28年8月現在）22家庭（13小学校区）



② 児童相談所設置前から、本気で取り組みます

目標の達成には、里親登録家庭の増加が不可欠です。そのため、児童相談所設置前から、他の児童相談所設置市の約6倍強の予算（約860万円）で、里親登録数の増加に向けた取り組みを行います。



③ 体験里親制度を始めます

「子どもの支援に興味はあるけどいきなり里親はちょっと…」という方のために、里親登録へのステップとして、**体験里親制度**（「ごはん里親（仮）」※別紙）を創設します。子どもたちと触れ合う場として、地域のこども食堂等と連携し、里親登録に向けて子どもの支援に興味がある方をサポートします。

問い合わせ先

こども未来部子育て支援課（水野・溝口・児玉）

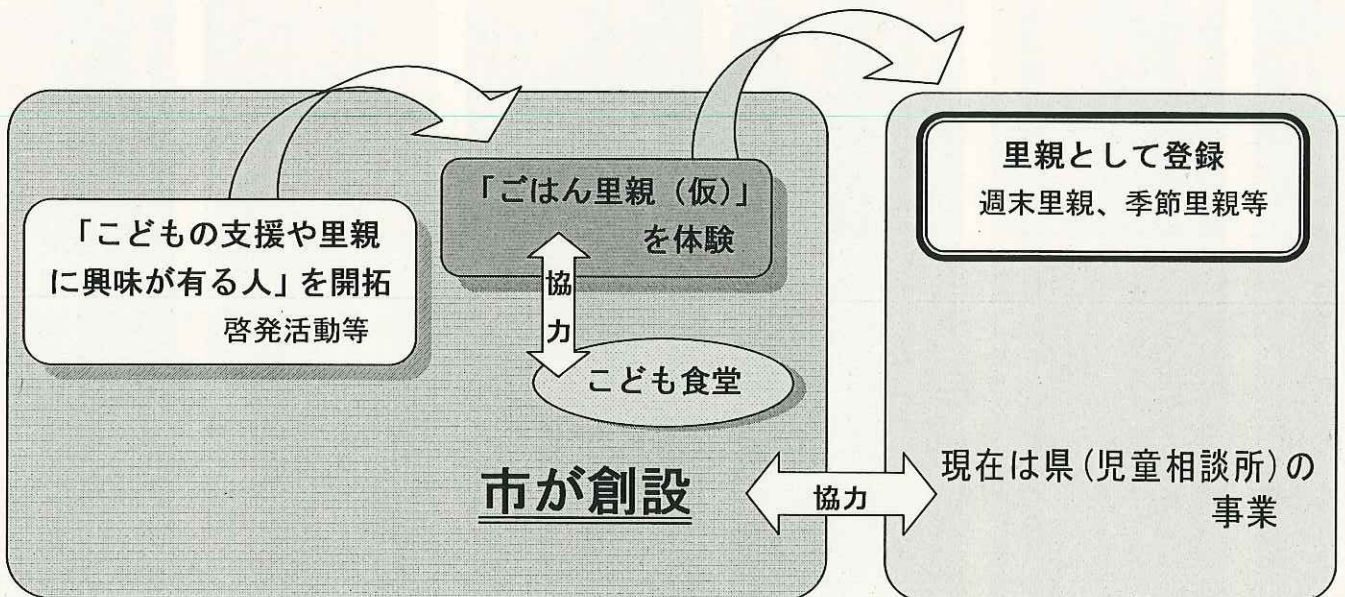
電話 918-5097（ダイヤルイン）内線 2104

別紙

体験里親制度（「ごはん里親（仮）」）

こども食堂を通じ、子どもと触れ合う機会をもち、里親の体験としてまずは家庭で食事を共にすることから体験していただきます。

体験里親制度「ごはん里親（仮）」 イメージ



明石市における家庭的養護の推進体制

参考

